

1 来札者の概要と観光動態

ここでは、来札者の基本属性を把握するとともに、主に観光客（旅行目的が『観光』及び『ビジネス兼観光』の回答者）がどのような観光動態をとっているかについて、把握・分析する。

本章のまとめ

（回答者の概要）

観光客像

観光客の男女比は 5 : 4 で女性の割合がやや低い。また、3 / 4 以上が 2 回以上訪れたことのあるリピーターであり、観光目的で 4 回以上札幌を訪れたことがある「ヘビーリピーター」の割合は、50 才代までは年代に比例して高く、大阪圏に比べ首都圏居住者で高い。

（旅行の概要）

旅行日数の平均値は 2.9 日、札幌での平均宿泊数は 1.3 泊（うち定山溪は平均 0.1 泊）

旅行日数が多いのは一人又は夫婦で訪れた旅行者である。札幌での宿泊数が多いのは一人での旅行者であり、その他（同行者を伴う旅行者）の平均宿泊数に比べ 1 泊近くの差がある。

旅行会社を利用している人では、利用していない人よりも旅行日数・札幌での平均宿泊数がともに少なく、特に団体型パック旅行者では札幌での平均宿泊数が 1 泊未満と少ない。

1～2 人の少人数旅行が中心、同行者は「夫婦」「友人」が多い

団体旅行を除くと過半数が 1 人又は 2 人の少人数旅行となっており、観光目的での訪問回数が多くなるにつれ、同行者数は少なくなる傾向にある。

同行者は、年代が高いほど「夫婦」の割合が高く、年代が低いほど「友人」の割合が高くなる傾向にある。

旅行会社は約 8 割が利用、若いほどフリー型パックの利用割合が高い

団体旅行利用者は約 3 割、高齢ほど利用率が高く、夫婦での旅行及び仕事関係者との旅行でよく利用されている。フリー型パックは若いほど利用されており、友人との旅行でよく利用されている。

旅行内容は札幌・小樽が中心、温泉地を訪問する人も多い

約半数が小樽を訪れているほか、洞爺や定山溪温泉、登別といった温泉地へ足を延ばす人が多くなっている。

団体旅行以外では、3割以上がレンタカーを利用している

特に旅行会社のフリー型パック利用者ではレンタカーの利用率が高く、オプションプランとして利用している人が多い可能性も考えられる。また、旅行会社を利用していない人や一人での旅行者では、公共交通機関を利用する人の割合が高い。

現地での消費総額は平均 4.8 万円、旅行会社の利用形態により費目に差がある

旅行会社未利用 > フリー型パック利用 > 団体型パック利用の順に現地での消費総額は少ないが、その差はそれほど大きくはなく、旅行会社を利用していない人では交通費や飲食費、団体型パック利用者ではおみやげ代にかかる費用が多くなっている。

1-1 回答者の概要

1) 旅行目的

旅行の主目的は、「観光」が最も多く 56.2%、次いで「その他(20.3%)」、「ビジネス(14.3%)」となっている。

性別・年代別にみると、「ビジネス」と回答した人の割合は、男性では女性に比べ 10%以上高く、特に男性の 30～50 才代では 30%以上を占めている。また、女性の 40 才代では「ビジネス」と回答した人が 17.4%と女性平均に比べて 10%程度高くなっている。「観光」と回答した人の割合は、女性では平均 63.6%と男性に比べ 10%以上高く、特に 60 才以上の女性では 73.2%となっている。「その他」の割合も、女性では平均 26.9%と男性に比べ 10%以上高くなっている。

居住地別にみると、大阪圏では「観光」が、首都圏では「その他」の割合について、地域間での差が 10%以上と高くなっている。

「その他」の記入内容としては、「結婚式(3.1%)」、「帰郷(1.7%)」、「法事(1.7%)」などがあつた。

		調査数	観光	ビジネス		その他	無回答	
				ビジネスのみ	ビジネス兼観光			
全体		777	56.2	23.0	14.3	8.8	20.3	0.4
性・年代	男性平均	429	50.3	34.3	22.8	11.4	15.4	0.0
	男性 18～29才	57	52.6	26.3	12.3	14.0	21.1	0.0
	30～39才	120	53.3	36.7	29.2	7.5	10.0	0.0
	40～49才	88	43.2	45.5	33.0	12.5	11.4	0.0
	50～59才	100	50.0	34.0	20.0	14.0	16.0	0.0
	60才以上	64	53.1	21.9	10.9	10.9	25.0	0.0
	女性平均	286	63.6	8.7	2.8	5.9	26.9	0.7
	女性 18～29才	65	66.2	9.2	3.1	6.2	24.6	0.0
	30～39才	57	61.4	5.3	3.5	1.8	31.6	1.8
	40～49才	46	63.0	17.4	6.5	10.9	17.4	2.2
	50～59才	62	54.8	8.1	0.0	8.1	37.1	0.0
	60才以上	56	73.2	5.4	1.8	3.6	21.4	0.0
居住地	首都圏	524	51.5	23.8	13.9	9.9	24.4	0.2
	大阪圏	253	66.0	21.3	15.0	6.3	11.9	0.8

問1 旅行の主目的(×性・年代別、居住地別)

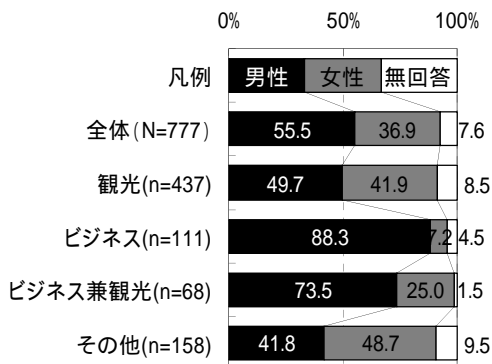
2) 基本属性

性別・年齢

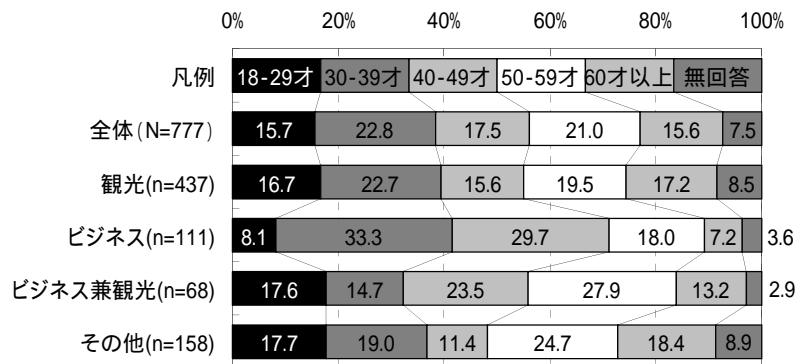
(全体)

全体では男性の割合が高く、特に『ビジネス目的』での来訪者では、9割近くが男性となっている。

年代は「30才代」が22.8%で最も多く、特にビジネス目的で訪れた人のうち、30才代の割合が高くなっている。



問 26 性別 (×旅行目的)

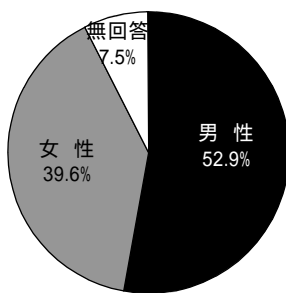


問 27 年齢 (×旅行目的)

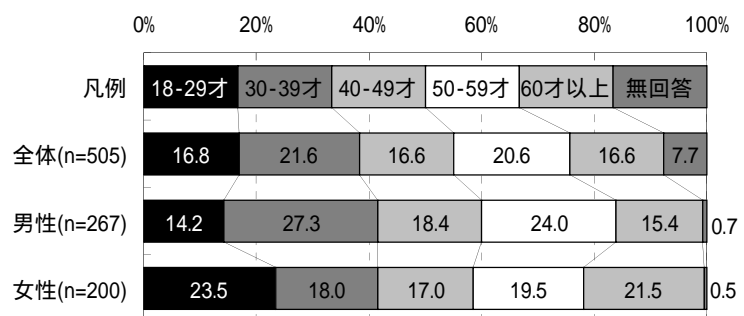
(観光客)

旅行目的が『観光』及び『ビジネス兼観光』の人の男女の内訳をみると、男女比は約5:4、女性の割合がやや低くなっている。

年齢の内訳をみると、男性では30才代及び50才代の割合が女性に比べ5%近く高く、女性では30才未満及び60才以上の割合が男性に比べ5%以上高くなっている。



問 26 性別 (観光客、N = 505)



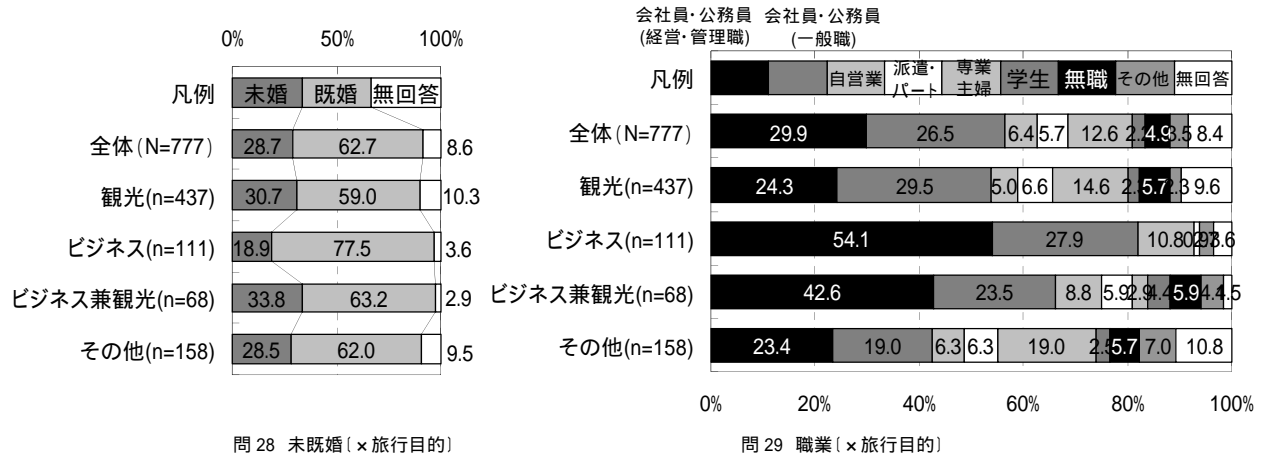
問 27 年齢 (観光客) (×性別)

未既婚・職業

(全体)

既婚者の割合は 62.7%、特にビジネス目的での訪問者では 77.5%と既婚者の割合が全体に比べ 10%以上高くなっている。

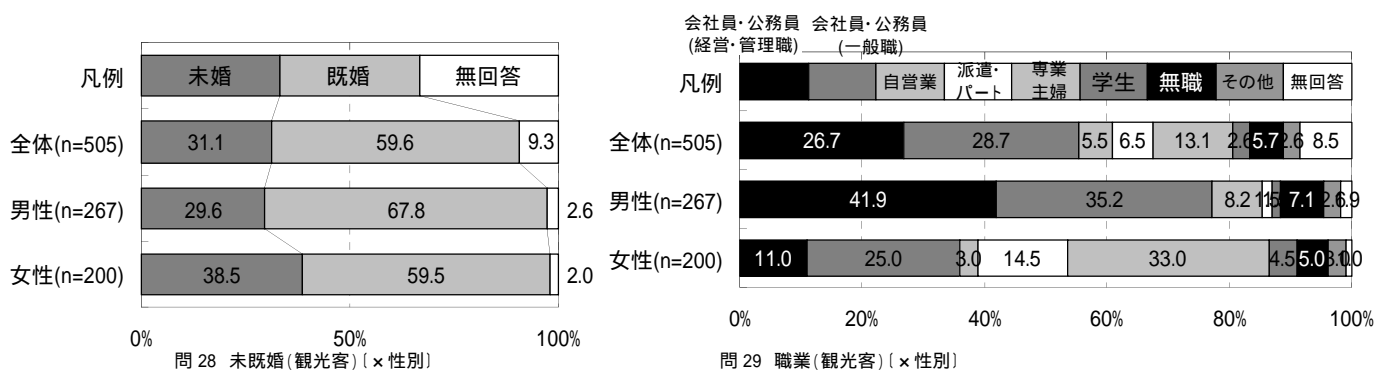
職業は、「会社員・公務員(経営・管理職)」が最も多く 29.9%、特にビジネス目的・ビジネス兼観光目的ではその割合が 54.1%、42.6%と全体に比べ 10%以上高くなっている。



(観光客)

既婚者の割合は 59.6%、男性では女性に比べ既婚者の割合が高くなっている。

職業の内訳については、全体では「会社員・公務員」が過半数を占めており、特に男性では 8 割近くを占めている。女性では、「専業主婦」の割合が最も高く、33.0%となっている。

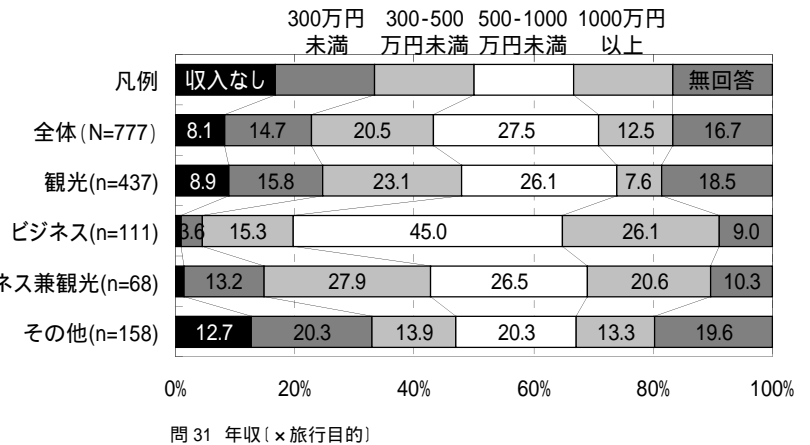
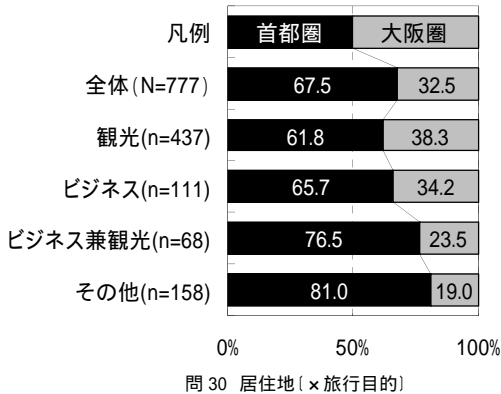


居住地、年収

(全体)

回答者の居住地は、首都圏と大阪圏の割合が約 7 : 3、旅行目的が「ビジネス兼観光」及び「その他」では、首都圏が全体に比べ 10%程度高い割合となっている。

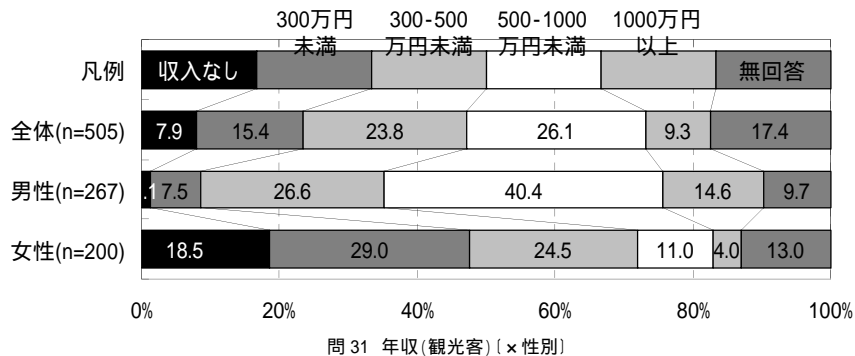
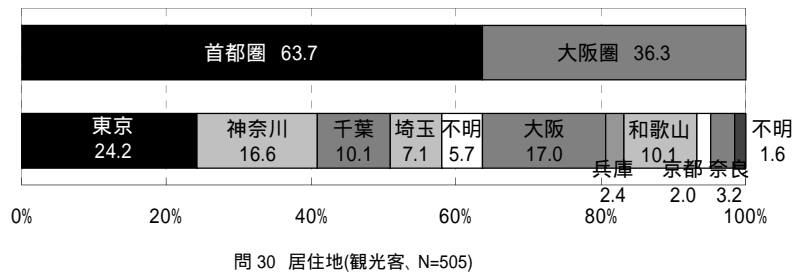
年収は「500～1000 万円未満」が最も多く 27.5%、「ビジネス」で訪れた人の年収が高い傾向がみられる。



(観光客)

観光客の居住地は、首都圏が 63.7%、大阪圏が 38.3%となっている。最も多いのは「東京」で 24.2%、次いで「大阪(17.0%)」、「神奈川(16.6%)」、「千葉(10.1%)」、「和歌山(10.1%)」となっている。

年収をみると、「500～1000 万円」の割合が最も高く 26.1%、次いで「300～500 万円(23.8%)」となっている。男女別では、女性では「収入無し」「300 万円未満」の割合が男性に比べ高かった。



3) 札幌への訪問回数

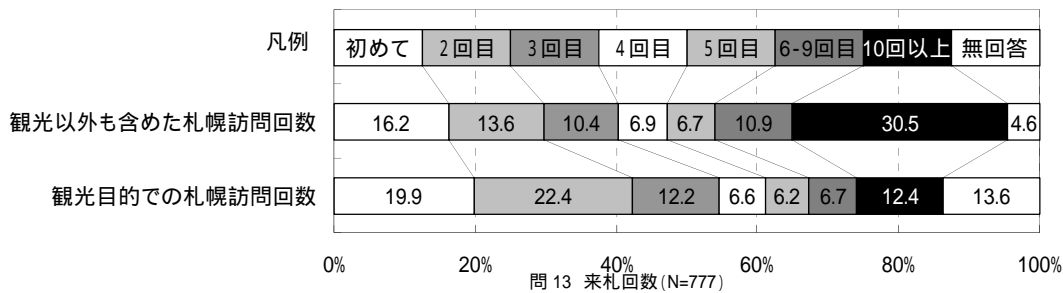
(全体)

3/4以上がリピーター

札幌への訪問回数について「初めて」と回答した人は、観光以外も含めると16.2%、観光目的では19.9%と、無回答を除くと3/4以上がリピーターである。

観光目的での訪問回数は、今回観光で訪れた人では「初めて」の割合が、ビジネス兼観光及びその他の目的で訪れた人では4回以上の「ヘビーリピーター」の割合が、全体に比べ5%程度高くなっている。

一方、観光目的以外も含む訪問回数は、今回観光で訪れた人では「初めて」及び2、3回の「ライトリピーター」の割合が、ビジネス・ビジネス兼観光・その他の目的で訪れた人では、4回以上訪れたことがある「ヘビーリピーター」の割合が、それぞれ全体と比べて高くなっている。



	調査数	観光目的			観光目的以外も含む		
		初めて	ライトリピーター (2,3回)	ヘビーリピーター (4回以上)	初めて	ライトリピーター (2,3回)	ヘビーリピーター (4回以上)
全体	777	19.9	34.6	31.8	16.2	24.1	55.1
観光	437	24.5	37.1	30.4	22.4	30.4	41.6
ビジネス	111	12.6	35.1	23.4	4.5	18.9	75.7
ビジネス兼観光	68	22.1	25.0	41.2	14.7	14.7	69.1
その他	158	11.4	31.6	37.3	7.6	13.9	72.2

問13 来札回数(×旅行目的) 無回答除く

(観光客)

リピーターは60才未満では年代が高いほど多く、首都圏居住者が中心

世代別にみると、「観光目的」・「観光目的以外も含む」とも、年代が低いほど「初めて」の割合が高くなる傾向がみられる。「観光目的」では、50才代までは、年代が高いほど4回以上訪問したことがある「ヘビーリピーター」の割合が高くなる傾向がみられる。女性の60才以上では、2,3回訪問したことがある「ライトリピーター」の割合が平均値より10%以上高くなっている。

居住地別にみると、「観光目的」・「観光目的以外も含む」とも、首都圏では「ヘビーリピーター」の割合が、大阪圏では「初めて」の割合が、それぞれ高くなっており、特に「ヘビーリピーター」は、大阪圏に比べ首都圏が10%以上高くなっている。

	調査数	観光目的			観光目的以外も含む		
		初めて	ライトリピーター (2,3回)	ヘビーリピーター (4回以上)	初めて	ライトリピーター (2,3回)	ヘビーリピーター (4回以上)
全体	505	24.2	35.4	31.9	21.4	28.3	45.3
男性平均	265	24.2	33.2	35.1	20.0	24.5	51.3
男性 18～29才	38	▲ 57.9	23.7	13.2	▲ 55.3	21.1	23.7
30～39才	73	21.9	34.2	38.4	▲ 16.4	30.1	50.7
40～49才	49	16.3	42.9	36.7	▲ 14.3	22.4	61.2
50～59才	64	18.8	31.3	▼ 42.2	▲ 14.1	23.4	56.3
60才以上	41	14.6	31.7	36.6	▲ 9.8	22.0	58.5
女性平均	199	24.6	39.7	25.1	23.6	34.2	35.7
女性 18～29才	47	▲ 40.4	31.9	14.9	▲ 44.7	25.5	21.3
30～39才	36	22.2	47.2	22.2	▲ 19.4	44.4	30.6
40～49才	34	23.5	38.2	29.4	▲ 20.6	29.4	47.1
50～59才	39	20.5	30.8	▼ 43.6	▲ 15.4	25.6	53.8
60才以上	43	14.0	51.2	18.6	▲ 14.0	46.5	30.2
居住地 首都圏	322	22.4	35.1	37.3	18.0	28.0	52.8
大阪圏	183	27.3	36.1	22.4	27.3	29.0	32.2

問13 来札回数(観光客)(×性・年齢別、居住地別) 無回答除く

1-2 観光動態

1) 旅行の概要

旅行日数

(全体)

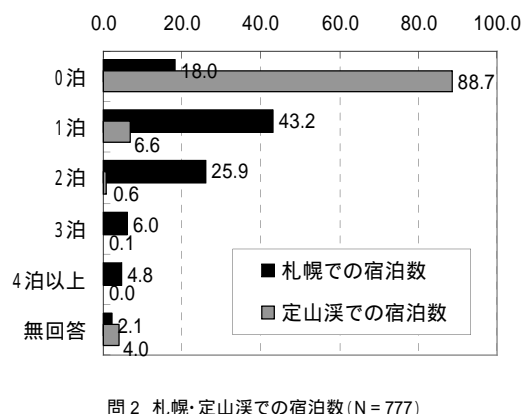
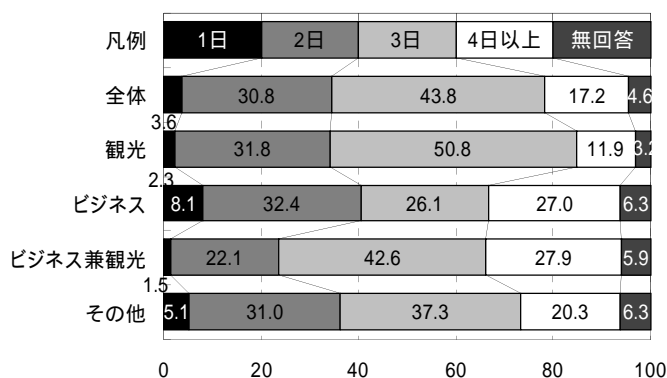
平均 3.1 日、札幌での宿泊は平均 1.6 泊

旅行日数の平均は 3.1 日、「3 日」と回答した人が最も多く 43.8%、次いで「2 日」30.8%、「4 日」17.2%であった。

札幌での宿泊数は平均 1.6 泊、「1 泊」が最も多く 43.2%であった。定山溪での宿泊数は平均 0.1 泊、「0 泊」が最も多く 88.7%であった。

また、札幌・定山溪以外の宿泊先として最も多かったのは、「登別」で 8.1%、次いで「小樽 (5.7%)」、「函館 (4.0%)」、「層雲峡 (2.3%)」などであった。

旅行目的別に平均日数・宿泊数をみると、ビジネスで訪れた人では旅行日数・札幌での宿泊数とも平均値が最も高くなっている (各 3.9 日・2.4 泊)



	調査数	旅行日数	札幌での宿泊数		
			うち、定山溪泊		
全体	741	3.1	1.6	0.1	
旅行目的	観光	423	2.8	1.1	0.1
	ビジネス	104	3.9	2.4	0.0
	ビジネス兼観光	64	3.6	2.2	0.0
	その他	148	3.4	1.9	0.1

問2 旅行日数・札幌・定山溪での平均宿泊数 (×旅行目的)

(観光客)

首都圏居住者のほうが旅行日数・札幌での宿泊数がともに長い

居住地別にみると、旅行日数に差は無いが札幌での宿泊数が少ないことから、大阪圏では、首都圏に比べ他の市町村で宿泊した人が多いことがうかがえる。

旅行形態別にみると、旅行日数・札幌での宿泊数がともに多いのは、一人で訪れた人となっている(3.5日・2.1泊)。また、家族で訪れた人では、定山溪に宿泊した人の割合が0.2%と他に比べ若干高くなっている。

旅行会社の利用形態別にみると、旅行日数・札幌での宿泊数がともに多いのは、旅行会社を利用していない人であった(3.1日・2.0泊)。団体型パックの利用者では、札幌での宿泊数が他に比べ0.8日と少なく、他市町村での宿泊が多いことがうかがえる。

		調査数	旅行日数	札幌での宿泊数	
					うち、定山溪泊
観光客全体		505	2.9	1.3	0.1
居住地	首都圏	322	2.9	1.4	0.1
	大阪圏	183	2.9	1.1	0.1
旅行形態	家族で	89	2.9	1.2	0.2
	夫婦で	130	3.2	1.1	0.1
	友人と	115	2.7	1.2	0.1
	一人で	50	3.5	2.1	0.1
	仕事の関係者と	86	2.6	1.2	0.1
	その他	28	2.5	1.0	0.1
旅行会社の利用	利用した	393	2.9	1.3	0.1
	団体型パック	146	2.9	0.8	0.2
	フリー型パック	244	2.9	1.5	0.1
	利用していない	104	3.1	2.0	0.1

問2 旅行日数・札幌・定山溪での平均宿泊数(観光客)(×居住地別、旅行形態別、旅行会社の利用形態別)

同行者数

(全体)

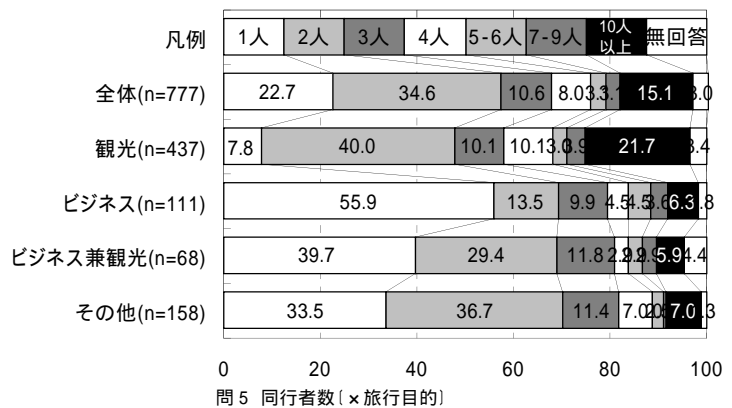
同行者数の平均は 6.0 人、1~2 人の少人数旅行が中心

同行者数の平均値は 6.0 人だが、全体での割合をみると「2 人」が最も多く 34.6%、次いで「1 人」22.7%となっており、1~2 人の少人数旅行があわせて過半数を占めている。

旅行目的別にみると、観光で訪れた人の同行者数平均は 8.2 人、これは「10 人以上」が 21.7%を占めていることから、団体旅行者が多いためと考えられる。ビジネスで訪れた人の同行者数平均は 3.3 人で、過半数が「1 人」で訪れている。

	調査数	平均値
全体	693	6.0
観光	422	8.2
ビジネス	109	3.3
ビジネス兼観光	65	2.9
その他	156	3.0

問 5 同行者数平均値(×旅行目的)



問 5 同行者数(×旅行目的)

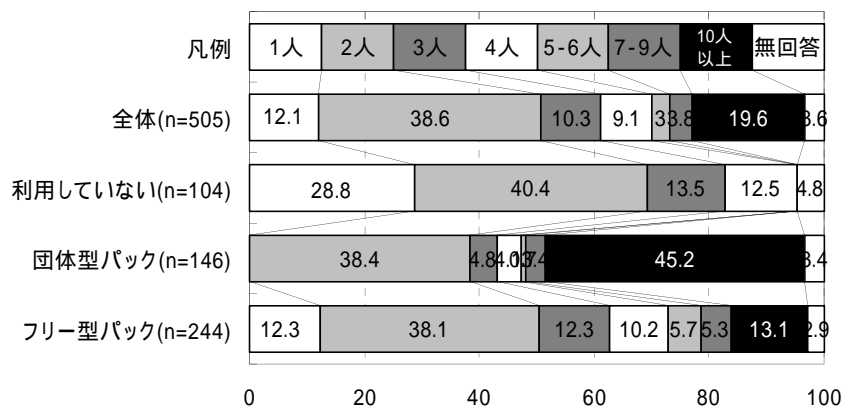
(観光客)

訪問回数が多いほど同行者数は少ない

観光客の平均同行者数は、7.5 人となっている。

旅行会社の利用形態別にみると、フリー型パックの利用者と、旅行会社を利用していない人では、過半数が「1人」または「2人」で訪れている。団体型パック利用者では、「10人以上」が45.2%となっており、平均値も15.4人と他に比べ多い。

観光目的での訪問回数別にみると、今回が初めての人を除くと、訪問回数が多いほど同行者数が少なくなる傾向がみられる。



問5 同行者数平均値(観光客)〔×旅行会社の利用形態〕

		調査数	平均値
全体		446	7.5
旅行会社の利用	利用した	381	8.9
	団体型パック	141	15.4
	フリー型パック	237	5.1
	利用していない	99	2.1
観光目的での 訪問回数	今回が初めて	118	7.1
	2回	104	9.3
	3回	68	7.8
	4回	36	7.7
	5回	30	7.2
	6～9回	38	6.6
	10回以上	52	5.4

問5 同行者数平均値(観光客)〔×観光目的での訪問回数〕

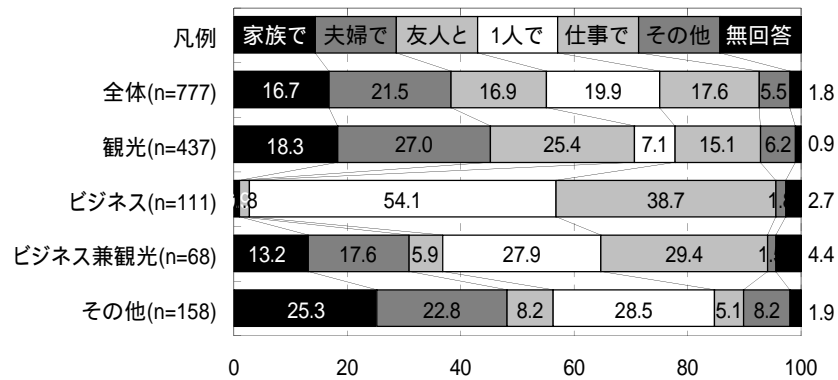
旅行形態(同行者)

(全体)

観光目的では夫婦・友人との来訪が多い

同行者の内訳をみると、全体では「夫婦で」が最も多く 21.5%、次いで「1人で」19.9%、「仕事上の関係者と(仕事で)」17.6%となっている。

旅行目的別にみると、観光で訪れる人は「夫婦で」「友人と」が多く、それぞれ 27.0%、25.4%を占めており、家族で訪れる人も 18.3%であった。ビジネスで訪れる人は、大半が「1人」か「仕事上の関係者と」訪れている。ビジネス兼観光で訪れる人は、「1人で」「仕事上の関係者と」が多く、それぞれ 27.9%、29.4%であったが、「家族」や「夫婦」、「友人」と共に訪れている人もあわせて 4 割近くを占めている。



問6 同行者属性(×旅行目的)

(観光客)

「夫婦で」「友人と」が多い

同行者の内訳をみると、全体では「夫婦で」が最も多く 25.7%、次いで「友人と」22.8%、「家族で」17.6%となっている。

性別にみると、女性では「家族で」「友人と」訪れた人の割合が、男性では「仕事の関係者と(仕事で)」訪れている人の割合が、それぞれ平均値より 5%以上高くなっている。

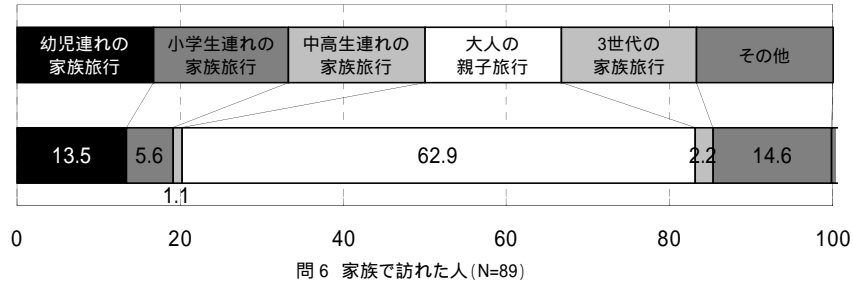
性・年代別にみると、男女とも「夫婦で」訪れた人の割合は年代が高いほど高くなる傾向がみられ、特に 50 才代男女の割合が高い。また、「友人と」訪れた人の割合は男女とも年代が低いほど、「一人で」訪れた人の割合は女性では年代が低いほど、高くなる傾向がみられる。

居住地別にみると、首都圏居住者では「友人と」「一人で」訪れた人の割合が、大阪圏居住者では「仕事の関係者と(仕事で)」訪れた人の割合が高く、居住地間で 5%以上の差がある。

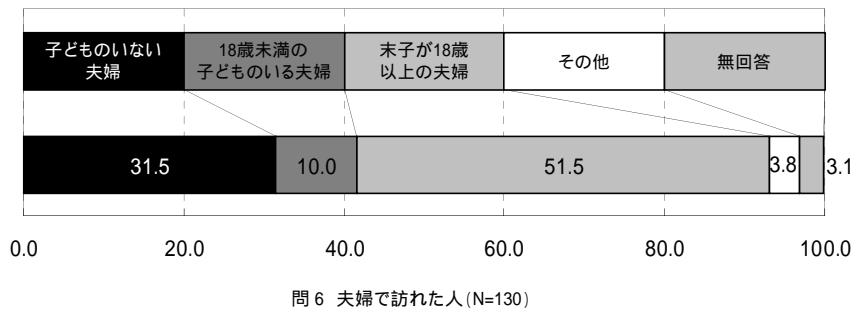
	調査数	家族で	夫婦で	友人と	一人で	仕事で	その他	無回答
全 体	505	17.6	25.7	22.8	9.9	17.0	5.5	1.4
男性平均	265	9.4	24.2	17.7	12.1	26.4	7.5	2.6
男性 18～29才	38	7.9	10.5	28.9	7.9	36.8	5.3	2.6
30～39才	73	9.6	12.3	24.7	13.7	26.0	11.0	2.7
40～49才	49	10.2	12.2	14.3	14.3	34.7	12.2	2.0
50～59才	64	7.8	45.3	10.9	4.7	25.0	3.1	3.1
60才以上	41	12.2	39.0	9.8	22.0	9.8	4.9	2.4
女性平均	199	28.6	26.1	30.2	8.0	3.5	3.5	0.0
女性 18～29才	47	27.7	8.5	40.4	14.9	4.3	4.3	0.0
30～39才	36	33.3	16.7	36.1	11.1	0.0	2.8	0.0
40～49才	34	32.4	26.5	26.5	5.9	8.8	0.0	0.0
50～59才	39	33.3	48.7	10.3	5.1	2.6	0.0	0.0
60才以上	43	18.6	32.6	34.9	2.3	2.3	9.3	0.0
居住地 首都圏	322	17.4	24.5	24.5	13.4	14.3	5.0	0.9
大阪圏	183	18.0	27.9	19.7	3.8	21.9	6.6	2.2

問6 同行者属性(観光客)(×性・年代別、居住地別)

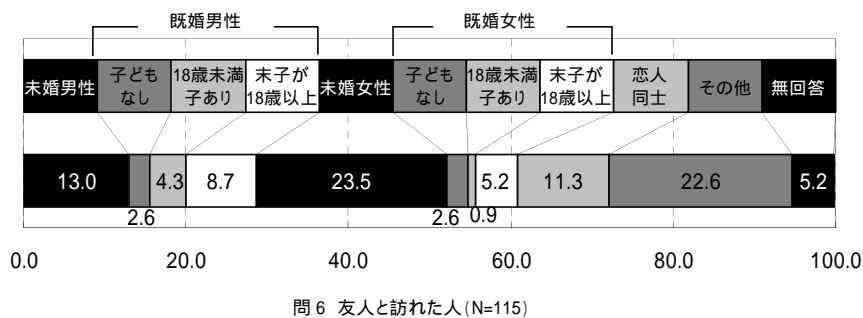
家族で訪れた人のうち、62.9%が「大人の親子旅行」で、中高生以下の子どもを連れて来た人は2割弱にとどまっている。



夫婦で訪れた人では、「末子が18才以上の夫婦」が過半数の51.5%を占めており、次いで「子どものいない夫婦」が31.5%となっている。



友人と訪れた人では、その他を除くと「未婚女性」が最も多く23.5%、次いで「未婚男性(13.0%)」、「恋人同士(11.3%)」となっている。



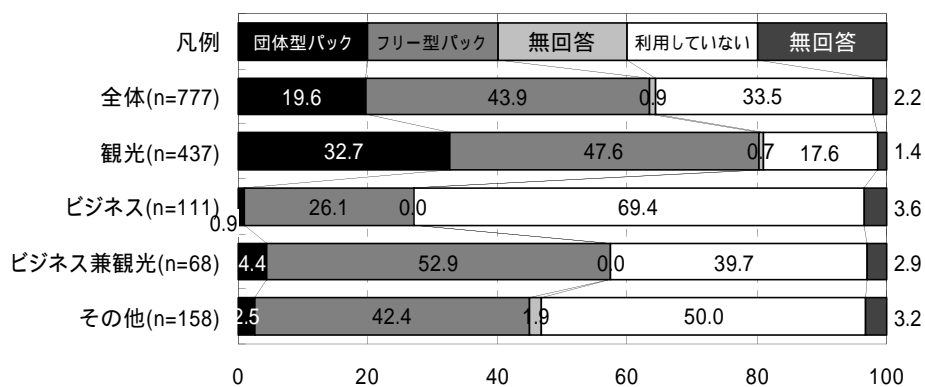
2) 旅行会社の利用状況

(全体)

団体旅行は2割弱、大半が個人旅行かフリーパック

旅行会社のパックを利用した人は64.4%、そのうち団体型パックを利用した人は全体のうち19.6%、フリー型パックを利用した人は43.9%であった。

旅行目的別にみると、観光で訪れた人では旅行会社のパックを利用した割合が8割を超しており、他の旅行目的に比べ団体型パックの利用が多くなっている。ビジネスで訪れた人は、旅行会社のパックを利用していない人の割合が約7割を占めているが、ビジネス兼観光では利用した人の割合が6割近くとなっており、フリー型パックが多くなっている。



問7 旅行会社の利用(×旅行目的)

(観光客)

若い世代ではフリー型パック、60才以上では団体型パックの利用が多い

全体では77.2%と8割近くの人が旅行会社を利用しており、団体型パックとフリー型パックの割合はおおよそ4:6となっている。

性別・年代別にみると、男性では60才以上を除くと、年代が高いほど「利用していない」割合が高くなる傾向がみられる。また、「フリー型パック」の割合は、男女とも年齢が低いほど高くなる傾向がみられる。

また、60才以上では、男女とも「団体型パック」の割合が高く、男性では男性平均より17.2%、女性では女性平均より33.4%高くなっている。

	調査数	利用して いない	利用した			無回答	無回答
			団体型 パック	フリー型 パック	無回答		
全 体	505	20.6	77.2	28.9	48.3	0.6	3.4
男性平均	265	18.9	78.5	29.1	49.4	0.4	3.8
男性 18～29才	38	15.8	84.2	23.7	60.5	0.0	2.6
30～39才	73	16.4	80.8	24.7	56.2	0.0	6.8
40～49才	49	22.4	75.5	24.5	51.0	0.0	2.0
50～59才	64	25.0	71.9	29.7	42.2	1.6	1.6
60才以上	41	12.2	82.9	46.3	36.6	0.0	4.9
女性平均	199	23.1	74.9	27.1	47.7	1.0	3.5
女性 18～29才	47	25.5	72.3	17.0	55.3	2.1	0.0
30～39才	36	27.8	69.4	0.0	69.4	0.0	8.3
40～49才	34	14.7	79.4	29.4	50.0	2.9	5.9
50～59才	39	35.9	64.1	25.6	38.5	0.0	5.1
60才以上	43	11.6	88.4	60.5	27.9	0.0	0.0

問7 旅行会社の利用(観光客)(×性別・年代別)

友人との旅行では「フリー型パック」、夫婦・仕事関係者との旅行では「団体型パック」の利用が多い

首都圏では「フリー型パック」、大阪圏では「団体型パック」の利用が多い

旅行形態(同行者)別にみると、一人で訪れた人では「利用していない」が半数を占めており、他は77.2%と8割近くの人が旅行会社を利用している。

旅行会社を利用した人のうち、友人と訪れた人では「フリー型パック」の割合が、夫婦で又は仕事上の関係者と訪れた人では、「団体型パック」の割合が、それぞれ全体より10%以上高くなっている。

また居住地別にみると、首都圏居住者では「フリー型パック」を利用した人の割合が、大阪圏居住者では「団体型パック」を利用した人の割合が高く、居住地間で10%以上の差がみられた。

		調査数	利用していない	利用した	団体型	フリー型	無回答	無回答
					パック	パック		
全 体		505	20.6	77.2	28.9	48.3	0.6	3.4
旅行形態	家族で	89	23.6	73.0	19.1	52.8	1.1	1.5
	夫婦で	130	22.3	76.9	40.8	35.4	0.8	1.0
	友人と	115	14.8	85.2	19.1	65.2	0.9	1.0
	一人で	50	50.0	50.0	2.0	48.0	0.0	0.0
	仕事上の関係者と	86	10.5	88.4	51.2	37.2	0.0	0.0
	その他	28	3.6	92.9	32.1	60.7	0.0	0.0
居住地	首都圏	322	20.8	78.3	23.6	54.7	0.0	0.0
	大阪圏	183	20.2	77.0	38.3	37.2	1.6	2.1

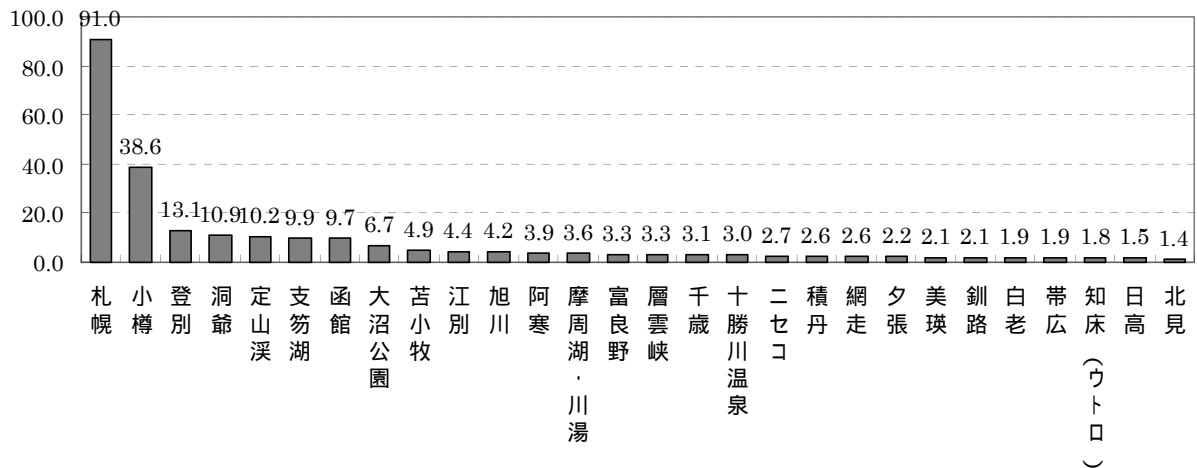
問7 旅行会社の利用(観光客)〔×旅行形態、居住地〕

3) 旅行中の訪問地域

(全体)

平均訪問地域は2.7地域、札幌・小樽を中心に道内を周る人が多い
無回答を除く人の回答数の平均値は、2.7地域であった。

「札幌」を訪れた人は全体の91.0%、次いで「小樽(38.6%)」、「登別(13.1%)」、「洞爺(10.9%)」、「定山溪(10.2%)」の順となっており、その他の地域はいずれも10%未満であった。



問3 訪問地域(回答率1.0%以上のもの)(N=777)

訪問者割合(%)	地名
0.5以上	昭和新山、温根湯、石狩、室蘭、えりも、伊達、ルスツ、大雪、余市
0.2以上～0.5未満	稚内、恵庭、早来、トマム、北広島、キロロ、芦別、歌志内、滝川、大滝、浦河、静内、新冠、三石、増毛、端野、足寄、池田
0以上0.1未満	留萌、紋別、サロマ湖、利尻、根室、岩内、砂川、岩見沢、栗山、月形、美瑛、深川、有珠、名寄、東川、置戸、厚岸、別海、羅臼
0(選択肢としてあげたが回答者がいなかったもの)	天売、焼尻、礼文、霧多布

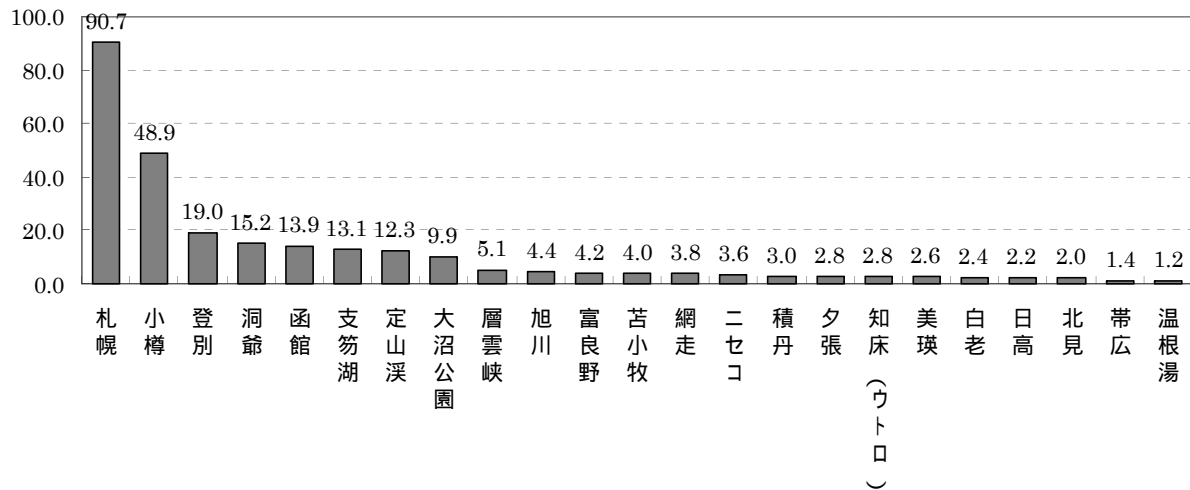
問3 訪問地域(回答率1.0%未満のもの)(N=777)

(観光客)

平均訪問地域は 2.7 地域、札幌・小樽を中心に道内を周る人が多い

無回答を除く人の回答数の平均値は、2.7 地域であった。

「札幌」を訪れた人は全体の 90.7%、次いで「小樽 (48.9%)」、「登別 (19.0%)」、「洞爺 (15.2%)」、「函館 (13.9%)」、「支笏湖 (13.1%)」、「定山渓 (12.3%)」、「大沼公園 (9.9%)」、「層雲峡 (5.1%)」、「旭川 (4.4%)」、「富良野 (4.2%)」、「苫小牧 (4.0%)」、「網走 (3.8%)」、「ニセコ (3.6%)」、「積丹 (3.0%)」、「夕張 (2.8%)」、「知床 (2.8%)」、「美瑛 (2.6%)」、「白老 (2.4%)」、「日高 (2.2%)」、「北見 (2.0%)」、「帯広 (1.4%)」、「温根湯 (1.2%)」の順となっており、その他の地域はいずれも 1.0%未満であった。



問3 訪問地域(回答率 1.0%以上のもの)(N=505)

訪問者割合(%)	地名
0.5 以上	大雪、余市、伊達、ルスツ、えりも、大雪
0.2 以上 ~ 0.5 未満	稚内、恵庭、早来、トマム、稚内、トマム、北広島、キロ口、芦別、歌志内、滝川、大滝、浦河、静内、新冠、三石、増毛、端野、足寄、池田
0 以上 0.1 未満	サロマ湖、留萌、紋別、サロマ湖、利尻、根室、岩内、砂川、岩見沢、栗山、月形、美唄、深川、有珠、名寄、東川、置戸、厚岸、別海、羅臼
0 (選択肢としてあげたが回答者がいなかったもの)	留萌、紋別、天売、焼尻、天売、焼尻、礼文、霧多布

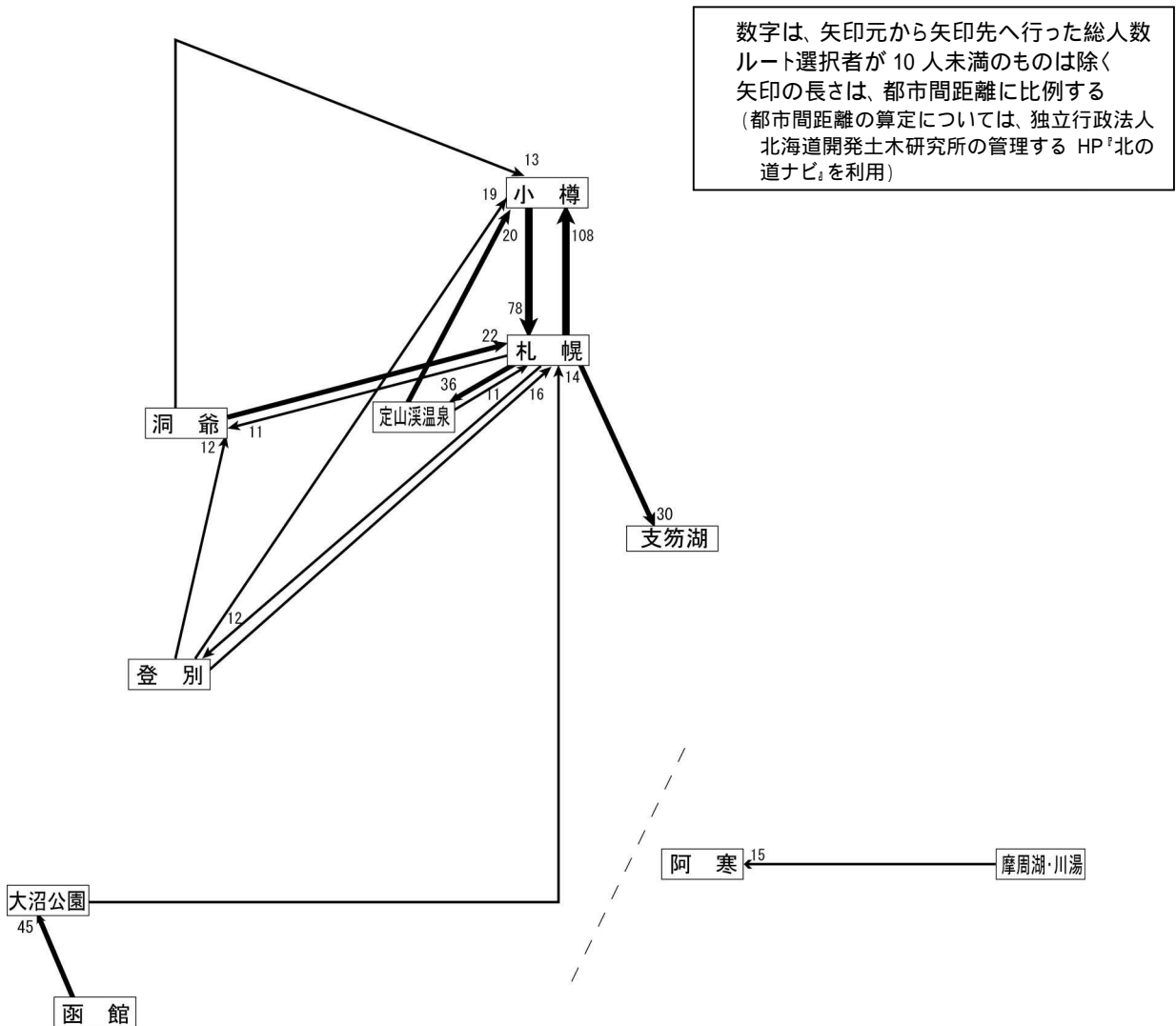
問3 訪問地域(回答率 1.0%未満のもの)(N=505)

札幌～小樽が訪問の中心

「札幌 小樽」、「小樽 札幌」のルートを取った人がそれぞれ 108 人、78 人と特出して多くなっている。他には、「函館 大沼公園 (45 人)」、「札幌 定山溪 (36 人)」、「札幌 支笏湖 (30 人)」などのルートについて、選択した人が多かった。

「洞爺」「登別」については、札幌との間に同数程度の矢印があり、札幌を拠点として各地を訪問している人が多いことがうかがえる。

また、「函館」を起点とし、大沼公園を経由して札幌を訪問している人も、遠距離にもかかわらず 14 人となっている。



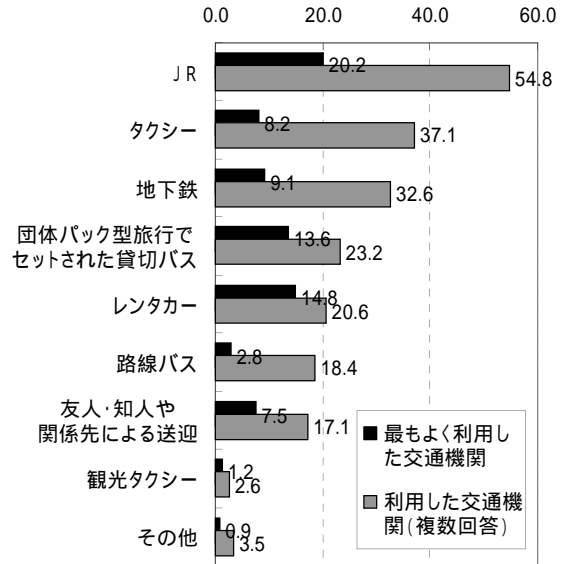
問3 訪問地域 ルートマップ

4) 利用交通機関

(全体)

JR、タクシー、地下鉄の利用が多い

「JR」は過半数が利用しており、「タクシー」、「地下鉄」も3割以上の人が利用している。最もよく利用した交通機関としては、「JR(20.2%)」に次いで「レンタカー(14.6%)」、「団体パック型旅行にセットされた貸切バス(13.6%)」となっている。



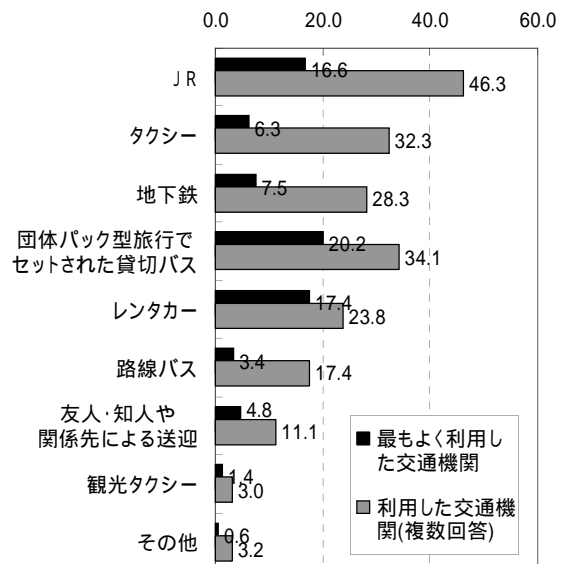
問4 利用交通機関(N=777)

(観光客)

JR、タクシーの利用が多い

観光客が利用した交通機関は、「JR」の利用が最も高く46.3%、「団体パック型旅行でセットされた貸切バス(34.1%)」、「タクシー(32.3%)」も3割以上の人が利用している。

最もよく利用した交通機関としては、「団体パック型旅行にセットされた貸切バス(20.2%)」に次いで、「レンタカー(17.4%)」があげられている。



問4 利用交通機関(観光客、N=505)

フリー型パック旅行者にはレンタカーが人気

旅行会社の利用別にみると、団体型パック利用者では 9 割以上が「セットされた貸切バス」で移動しており、他の交通機関の利用はいずれも 15%未満と低くなっている。一方、フリー型パック利用者では、レンタカーの利用が 34.4%と全体に比べ 10%以上高くなっている。

また、旅行会社を利用していない人では、「友人・知人による送迎」が 24.0%、「タクシー」が 43.3%、「地下鉄」が 40.4%と、全体に比べ 10%以上高い割合となっている。

一人で訪問した人は公共交通機関の利用率が高い

旅行形態(同行者)別にみると、一人で訪れた人は、「路線バス」「JR」「地下鉄」といった公共交通機関を利用している割合がいずれも全体に比べ 10%以上高くなっている。

また、家族又は友人と訪れた人では、「レンタカー」の割合が全体に比べ 5%以上高くなっている。

		調査数	貸切バス	団体パック型旅行でセットされた	タクシー	観光タクシー	レンタカー(パッケージに組み込まれたものを含む)	友人・知人や関係先による送迎	路線バス	JR	地下鉄	その他	無回答
全体		505	34.1	32.3	3.0	23.8	11.1	17.4	46.3	28.3	3.2	0.4	
旅行会社の利用	利用した	393	42.2	30.0	3.8	22.1	7.9	15.0	40.5	25.4	2.5	0.5	
	団体型パック	146	91.8	13.0	5.5	2.1	0.7	3.4	13.0	5.5	0.7	0.0	
	フリー型パック	244	12.3	40.6	2.9	34.4	12.3	21.7	57.0	37.3	3.7	0.8	
	利用していない	104	1.9	43.3	0.0	30.8	24.0	26.9	70.2	40.4	4.8	0.0	
旅行形態	家族で	89	23.6	39.3	3.4	30.3	7.9	18	46.1	31.5	5.6	0	
	夫婦で	130	43.8	27.7	2.3	24.6	7.7	18.5	41.5	24.6	0.8	0.0	
	友人と	115	20.9	38.3	4.3	29.6	13.9	15.7	48.7	28.7	2.6	0.9	
	一人で	50	2.0	32.0	0.0	12.0	24.0	34.0	84.0	54.0	4.0	0.0	
	仕事上の関係者と	86	60.5	26.7	4.7	15.1	10.5	7.0	30.2	15.1	4.7	1.2	
	その他	28	53.6	25.0	0.0	21.4	3.6	21.4	35.7	21.4	3.6	0.0	

問4 利用交通機関(観光客)〔×旅行会社の利用、旅行形態〕

5) 旅行費用

(全体)

平均合計金額は 9.5 万円、現地での総額は 4.5 万円

旅行会社を利用した人は、パック旅行代として平均約 4.5 万円を、また旅行会社を利用しなかった人は、往復旅費平均約 4.5 万円と宿泊代平均約 2.5 万円を支払っている。

現地での消費項目としては、飲食費が最も高く平均約 1.6 万円、次いでおみやげ代 1.5 万円となっている。現地での交通費は平均 0.8 万円、娯楽費は 0.6 万円に留まっている。

旅費の総額は平均で 9.5 万円であり、「6~8 万円」が最も多かった。

		5千円未満	5千~1万円未満	1~2万円未満	2~3万円未満	3~4万円未満	4~5万円未満	5万円以上	無回答	平均金額
旅行会社利用 (n=500)	パック旅行代	0.2	0.2	1.0	20.8	25.0	17.0	27.6	8.2	45,763
旅行会社未利用 (n=260)	往復旅費	0.4	0.0	0.8	16.5	9.2	15.4	28.8	28.8	45,675
	宿泊代	1.5	12.3	19.2	8.8	5.8	3.1	6.2	43.1	24,764
全員 (n=777)	現地での交通費	32.4	15.7	12.1	3.9	2.1	0.6	1.4	31.8	7,944
	飲食費	13.4	9.9	22.4	11.1	7.3	1.3	2.8	31.8	15,916
	娯楽費	47.2	4.9	8.0	4.1	2.2	0.9	0.9	31.8	5,796
	おみやげ代	13.6	14.3	21.1	8.8	3.6	2.2	4.6	31.8	15,026
	現地での総額	1.0	2.4	10.0	11.7	12.4	8.5	24.3	29.6	44,857

		4万円未満	4万~6万円未満	6~8万円未満	8~10万円未満	10~12万円未満	12~15万円未満	15万円以上	無回答	平均金額
合計額(n=777)		1.7	9.9	13.8	10.7	8.9	6.0	6.3	42.7	95,443

問8 旅行費用

(観光客)

平均合計金額は 9.7 万円、現地での総額は 4.8 万円

旅行会社を利用した人は、パック旅行代として平均約 4.7 万円を、また旅行会社を利用しなかった人は、往復旅費平均約 4.2 万円と宿泊代平均約 2.9 万円を支払っている。

現地での消費項目としては、おみやげ代が最も高く平均約 1.7 万円、次いで飲食費約 1.7 万円となっている。現地での交通費は平均約 0.7 万円、娯楽費は約 0.7 万円に留まっている。

旅費の総額は平均で 9.7 万円であり、「6～8 万円」が最も多かった。

		5千円未満	5千～1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5万円以上	無回答	平均金額
旅行会社利用 (n=393)	パック旅行代	0.3	0.3	0.8	19.8	23.4	17.3	31.0	7.1	47,533
旅行会社未利用 (n=104)	往復旅費	0.0	0.0	0.0	23.1	13.5	12.5	20.2	30.8	42,089
	宿泊代	3.8	17.3	12.5	12.5	10.6	5.8	8.7	28.8	29,973
全員 (n=505)	現地での交通費	31.5	16.6	12.5	3.6	2.2	0.6	0.6	32.5	7,349
	飲食費	11.5	9.3	22.8	12.5	7.3	1.2	3.0	32.5	16,950
	娯楽費	44.2	5.5	9.3	4.0	2.6	1.0	1.0	32.5	6,607
	おみやげ代	9.1	12.3	22.8	11.5	3.4	2.6	5.9	32.5	17,405
	現地での総額	0.2	1.2	7.7	11.5	13.5	9.7	26.7	29.5	48,424

		4万円未満	4万～6万円未満	6～8万円未満	8～10万円未満	10～12万円未満	12～15万円未満	15万円以上	無回答	平均金額
合計額(n=505)		1.6	10.3	14.9	12.3	9.1	6.7	7.5	37.6	97,141

問 8 旅行費用(観光客)

男性のほうが旅行費用が大きい

性別にみると、「おみやげ代」を除く全ての項目において、男性の平均値が女性の平均値を上回っており、「合計金額」では約 1.9 万円、「現地の総額」では約 1.6 万円、「交通費」では 0.1 万円、「飲食費」では 0.7 万円、「娯楽費」では約 0.8 万円の差がみられる。

現地での旅費の内訳をみると、「飲食費」は男性の 40 才代で、「娯楽費」が 50 才未満の男性で、全体平均値を大きく上回っている。また、「娯楽費」は男女とも年代が低いほど高くなる傾向が、「おみやげ代」は女性で年齢が高くなるほど高くなる傾向がみられた。

	調査数	合計金額	現地での総額				
			交通費	飲食費	娯楽費	おみやげ代	
全 体	356	97,141	48,424	7,349	16,950	6,607	17,405
男性平均	157	103,991	61,627	8,557	21,605	10,809	17,783
男性 18～29才	21	81,668	53,238	5,619	14,952	▲ 21,429	11,238
30～39才	35	100,514	63,086	9,943	19,171	▲ 14,400	19,571
40～49才	29	128,241	78,759	8,241	39,690	▲ 14,000	15,862
50～59才	49	102,398	53,133	9,071	15,245	▲ 5,306	19,878
60才以上	23	102,478	63,565	8,435	22,130	▲ 3,348	19,000
女性平均	130	84,985	45,373	7,142	14,523	▲ 3,177	18,115
女性 18～29才	29	74,545	40,207	5,379	17,897	▲ 5,655	▲ 11,276
30～39才	23	86,252	44,739	7,087	13,652	▲ 5,565	▲ 13,217
40～49才	22	86,136	48,023	5,432	16,545	▲ 2,864	▲ 21,591
50～59才	30	97,007	55,567	11,133	16,967	▲ 1,700	▲ 20,467
60才以上	26	80,662	37,692	6,000	7,000	▲ 269	▼ 24,423

問 8 旅行費用(観光客)(×性・年代別)

旅行会社の利用有無により、現地での消費項目に差

旅行会社の利用形態別にみると、「合計金額」は、旅行会社を利用していない人では、全体に比べ 2.0 万円程度高くなっている。

旅行費用の「現地での総額」については、旅行会社の利用別に大きな差はみられない。費目ごとに全体平均値と比べると、旅行会社を利用していない人では、「交通費」で約 0.4 万円・「飲食費」で約 0.5 万円多くなっており、団体型パックを利用した人では「交通費」・「飲食費」・「娯楽費」の支出が少ない代わりに、「おみやげ代」の支出が約 0.7 万円多くなっている。

	調査数	合計金額	現地での総額				
			交通費	飲食費	娯楽費	おみやげ代	
全 体	356	97,141	48,424	7,349	16,950	6,607	17,405
利用した	267	92,757	47,313	6,093	15,099	7,210	18,565
団体型パック	86	88,241	42,267	2,810	10,633	4,532	24,253
フリー型パック	181	94,887	49,710	7,583	17,126	8,425	15,983
利用していない	88	117,418	51,653	10,902	22,299	4,931	13,943

問 8 旅行費用(観光客)(×旅行形態別)

大阪圏では首都圏より合計金額・現地での総額が低い

大阪圏では、首都圏より合計金額で約 0.3 千円、現地での総額で約 0.5 千円低くなっている。現地での費目ごとにみると、「飲食費」で約 0.5 千円の差がみられるが、他の費目では差はほとんどない。

	調査数	合計金額	現地での総額				
			交通費	飲食費	娯楽費	おみやげ代	
全 体	356	97,141	48,424	7,349	16,950	6,607	17,405
居住地 首都圏	223	98,129	50,009	7,498	18,803	6,229	17,166
大阪圏	118	95,274	45,385	7,068	13,449	7,322	17,856

問 8 旅行費用(観光客)(×居住地別)